

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

青森県三戸町 国保三戸中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ド透訓	救へ
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
10,596	10,616	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

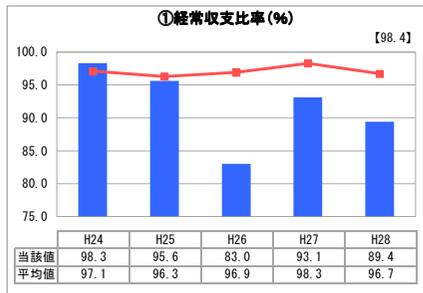
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
111	33	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	144
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
70	33	103

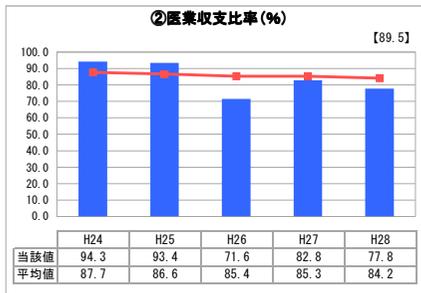
**グラフ凡例**

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

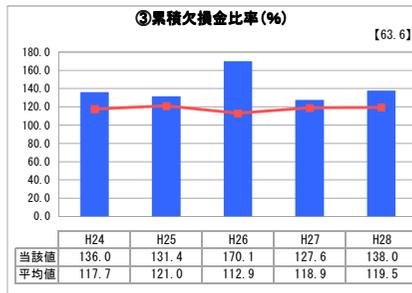
## 1. 経営の健全性・効率性



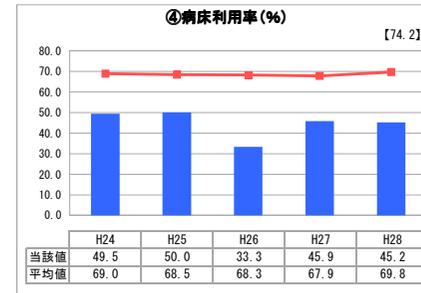
「経常損益」



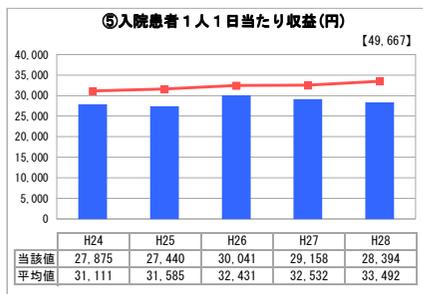
「医療損益」



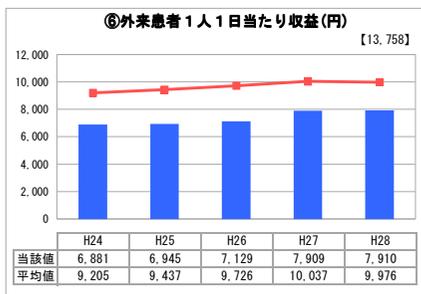
「累積欠損」



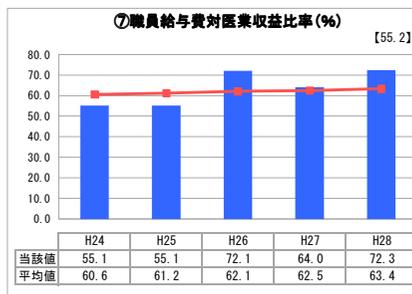
「施設の効率性」



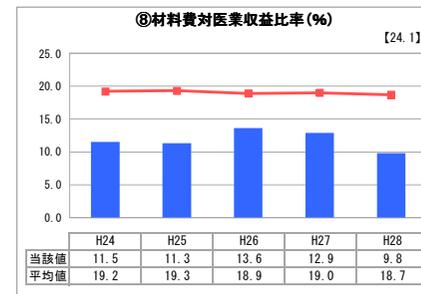
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

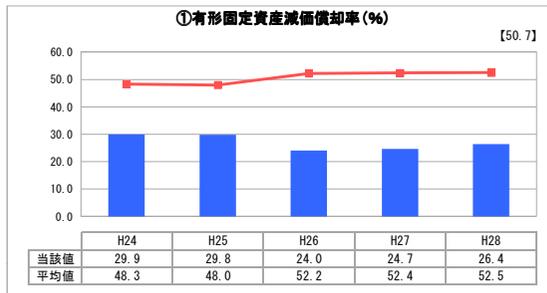


「費用の効率性①」

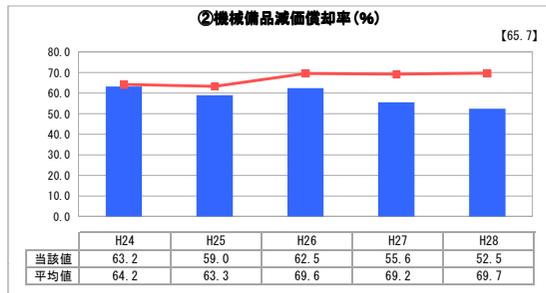


「費用の効率性②」

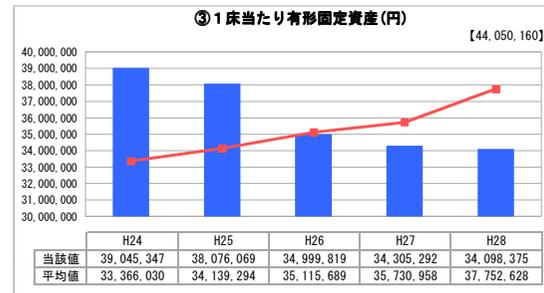
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

当院では、地域住民の安心安全のため、内科、総合診療科の外来及び入院を中心に、不採算部門の外来診療、24時間体制の救急医療、巡回診療等を提供するとともに、入院施設の無い隣接町と連携することにより、へき地医療拠点病院としての役割を担っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び医療収支比率は、類似団体の割合を下回っている。当該要因は、収益単価が低かったため、及び病床利用率が低かったためである。

入院患者1人1日当たり収益及び外来患者1人1日当たり収益は、類似団体の単価を下回っている。当該要因は、常勤医師が内科、総合診療科のみであり、手術を行っていないためである。

病床利用率は、類似団体の割合を下回っている。当該要因は、医師及び看護師が確保出来ず、患者受入れが出来なかったためである。医師、看護師の確保により、患者受入数を増やす等、経営を改善していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、機械備品減価償却率は、類似団体の割合を下回っている。当該要因は、病院建物が平成12年3月の完成、機械備品の多くも病院建物完成時に導入となっており、施設、機械備品ともに経過年数が少ないためである。一方で、病院建物完成以後、施設、機械備品ともに更新や新規導入が進んでおらず、施設内の電気設備及び機械設備並びに機械備品の老朽化が進行していることから、計画的な更新を進めていく必要がある。

### 全体総括

今後、施設及び機械備品の更新や新規導入に伴い、減価償却費が上昇し、経常収支比率が悪化することが予想される。1床当たり有形固定資産の単価は、類似団体を下回っているものの、稼働病床で算定した場合には、全国平均を上回ることから、更新及び新規導入にあたっては、適正な規模を検討する必要がある。

へき地医療拠点病院としての役割を果たしていくため、収益の確保、経費の削減により、経営を改善する必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。